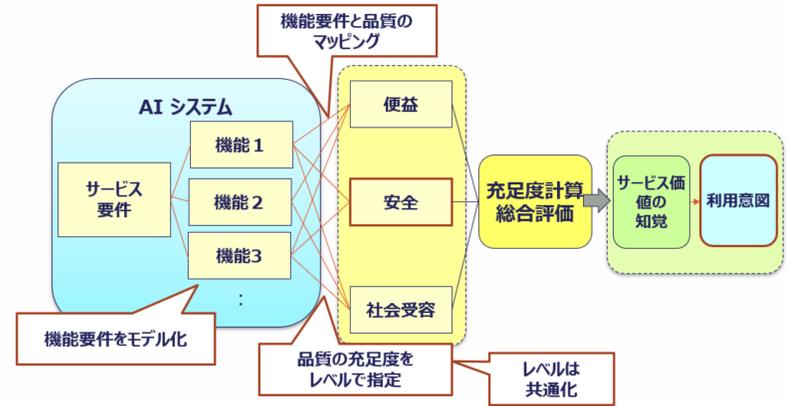


・活動概要

社会や人間が新しい技術と安心して共存できるように、社会やそれを構成する人間や組織、さらに文化や地域の違いが新しい技術に何を求めていくのか？といった技術の社会的形成と技術の社会受容性について、《人間的側面》と《社会・文化的側面》から考える。

《人間的側面》

①技術の社会受容性についての人間側からのアプローチや②社会受容性の高い製品を開発するためのプロセス、さらに③with COVID-19時代のウェルビーイング実現に向けたABW (Activity Based Working)の研究に取り組んでいる。



図① 利用時品質を用いたリスク回避のモデル化

【研究成果】

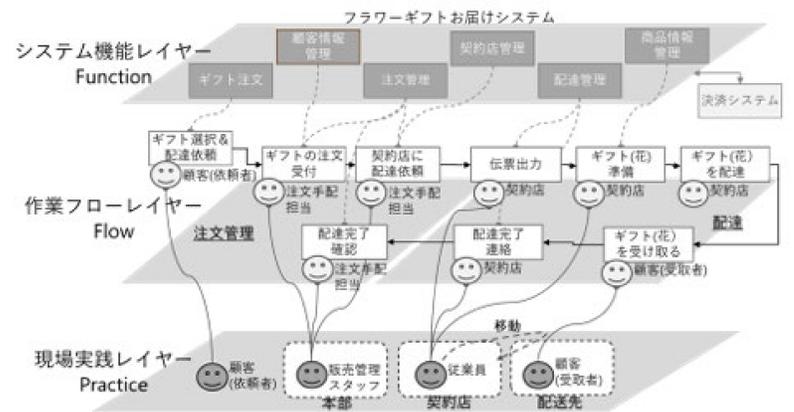
① 当チームで開発し、国際標準化された利用時品質モデルについて、そのモデルの1要素である「リスク回避」についてケーススタディを設定して具体的な適用及び評価方法を検討した。

② ユーザビリティ向上のための人間中心設計活動の書式(CIF: Common Industry Format)について、デジタル庁の開発標準ガイドライン策定委員として、ガイドラインの具体化を図った。また、情報システムの開発を担うソフトウェア技術者がユーザビリティ向上に躓く要因について、3層モデル図によるシステムの捉え方を提案し、認知科学に論文掲載された。

③ ABWについてCOVID-19前後での働きかたの変化の調査及びその変化の要因を分析。ABW導入の要件を抽出した。

《社会・文化的側面》

昨年度までのテクノアニミズム論をふまえて、AIの技術文明論的位置づけについての考察を発展させ、国内外で発表した。



図② 3層モデル図によるシステムの捉え方の表現

	n(Total)	全く変化ない	ほぼ変化ない	どちらとも…	少し変化した	大きく変化した
Total	177	9.6%	14.1%	26.0%	31.6%	18.6%

図③ 自宅内の環境や理解度の変化－在宅勤務／テレワークに対する家庭内の理解

発表成果

[1] Ogawa R, Sagawa, Y., Shima S, Takemura T, Fukuzumi S: A Case Study on AI System Evaluation from Users' Viewpoints, HCI International 2024.
 [2] Fukuzumi, S. and Hirasawa, N.: HCD and software development process, AHFE2024.
 [3] Fukuzumi, S.: UX approach related to agreement of software usage rules, AHFE Hawaii edition, 2024.
 [4] Fukuzumi, S.: IEA and Standardization, Explaining the role of international standardization in HFE, led by industry and academia, with the IEA collaborating with ISOTC159, Human Factors and Ergonomics (HFES) 2024.
 [5] 谷川・福住・原田: 情報システムの開発を担うソフトウェア技術者がユーザビリティ向上に躓く要因: 3層モデル図によるシステムの捉え方からの検討、日本認知科学会、2024
 [6] 小川、佐川、竹村、島、福住: 利用時品質に基づくAIシステム評価のケース分析 - 便益・リスク回避・社会受容の包括評価に向けて -、CSS2024
 [7] 福住: 人間とロボットとの共生とは?、日本人間工学会第65回大会、2024
 [8] 兵頭、福住、八木、笠松: 新しい働き方ABWに関わる人間工学 -働き方に関わる人間工学の標準化-、日本人間工学会第65回大会、2024
 [9] 福住: 人を扱う工学研究の倫理、計測自動制御学会、SI2024Keynote speech、2024
 [10] 前田・翁・佐倉: 人とAIの共生を考えるには「文化」が重要である、科学 242、2024
 [11] Sakura O: How Should We Consider the Cultural Aspects of Human-AI Relationships?, Keynote speech, EJEI International Hybrid Conference 2024.
 [12] Sakura O, Yuki M: Animism and Techno-animism in Japan: Their Roots and Modern Transformations, In: Global Perspectives on Animism and Autonomous Technologies, (Eds. Becker R, Luz Costa AC, Ventimiglia A) Springer, 2025 (in press)